

大阪 保険医新聞

大阪府歯科保険医協会 敬
 発行人 志岐 敬
 大阪府浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731(代表)
 http://osk-net.org/
 2011年第1077号
 (毎月5、15、25日発行)
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可



レセプションには国会議員や関係団体代表、会員ら90人が協会創立40周年を祝った＝5月29日、大阪市内

創立40周年祝う

診療報酬改善・患者負担減貫く

総会・記念レセプション開く

創立40周年を機に「保険でよい歯科医療」運動を強めよう。協会は5月29日、第50回定期総会を大阪市内で開き、活動方針や予算など、すべての議案を賛成多数で可決した。伊津進弘理事長はあいさつで、「40周年を迎え、設立主旨に沿って保険点数の引き上げ、患者負担の引き下げを要求し、保険でよい歯科医療ができるよう今後も運動していきたい」とあいさつした。総会後には、40周年記念レセプションを開いた。

報告と3号議案・収支差額処理案を江本勝副理事長が、4号議案・11年度予算案を三井泰正理事長が報告。創立40周年記念事業や震災対策で予算計上したことなどを説明した。5号議案では、事務局長・名誉役員を貴島正彦副理事長が提案した。すべての議案を審議の上、賛成多数で可決した。最後に、厚労省が5月12日に公表した社会保障制度改革案を問う決議と、原発依存からの転換を求める決議をそれぞれ拍手で採択した(6面に

1号議案「情勢」、2009・10年度活動のまとめ、11・12年度活動方針案」について説明した小澤力副理事長は、診療報酬引き上げや患者窓口負担軽減など、社会保障の拡充を求める協会運動への協力を訴えた。2号議案・10年度決算

報告と3号議案・収支差額処理案を江本勝副理事長が、4号議案・11年度予算案を三井泰正理事長が報告。創立40周年記念事業や震災対策で予算計上したことなどを説明した。5号議案では、事務局長・名誉役員を貴島正彦副理事長が提案した。すべての議案を審議の上、賛成多数で可決した。最後に、厚労省が5月12日に公表した社会保障制度改革案を問う決議と、原発依存からの転換を求める決議をそれぞれ拍手で採択した(6面に

決議全文)。新宅雅文氏(河内長野市)が議長を、平川光彦氏(吹田市)副議長を務めた。総会には、大阪府歯科医師会の太田謙司会長はじめ、国会議員や関係諸団体など90の団体・個人から祝電・メッセージが寄せられた(6面に一覽)。

総会後は、米井嘉一氏(同志社大学大学院教授)が「口から見た」全身の健康・長寿への提言をテーマに記念講演した。会員ら90人が参加した。

レセプションには、国会議員や関係者、会員ら90人が出席した。伊津進弘理事長は、「社会保障の充実で、安心した社会をめざしてまい進していく」とあいさつ。次期理事長の小澤氏は、「重責だが協会運動を一步でも前に進

めたい」と抱負を語った。来賓の住江憲勇保団連会長や森山浩行衆院議員(民主)、そり邦雄府議(共産)らが祝辞を述べた。玉川和隆名誉理事長は「長くて短い40年だったが、大きな成長を遂げることができた」と振り返り、「困難が続くが、実績に自信を持って運動していきたい」と話した。

呼びかけている。署名用紙は今号に同封し、全員に10部ずつ送付する。署名の請願趣旨では、窓口負担と保険のきかな治療が歯科受診を妨げていると指摘。被災者への口腔ケアが重要な役割を果たしていることを紹介しながら、「保険でよい歯科医療」の実現を求めている。

阪神淡路大震災は人口密集地帯で起こり火災が損害を大きくした。その後の新潟の地震では過疎地が多く孤立地域の救援へのアクセス困難という別の課題が現れた。今回は広域なと大津波と原発が加わった。人間は経験したことしか学習せず、多様な自然が起こす新しい問題は想定外で対応できない。歯科医院も多く被災した。ユニットを床に固定してあったら床ごと全滅したり近々取り替えの予定で床から外しておいた重いユニットが移動だけていた事例もあった。次の災害への課題を想定する間もなく復旧が急がれているが、政府や経済界は漁業などを資本の集約で大型組織に変革しようとして画策している。リスクヘッジと言うが、都会の大型店舗と同様で大多数の漁業関係者が非正規社員となるだろう。自立心が強く誇り高い漁業関係者の個人事業者たちは、壊滅的被害に見舞われながらも大型化に異を唱え、自らの力で再建に立ち上がるつもりだ。

個別指導215件を計画

近畿厚生局 体制強化で増加も

協会は近畿厚生局に対して指導関連の情報公開請求し、昨年度の指導結果と今年度の指導計画などが開示された。昨年度の個別指導は47件実施され、今年度は、個別指導215件、新規個別指導160件、集団的個別指導429件を予定している

近年実施された大阪の個別指導は年間5〜7件で推移していたが、昨年度中に技官が1人増員されて4人になり、2010年度は2009年度に比べ6・7倍に増え、今年度はさらに強化されている。

今年度実施予定の個別指導215件の内訳は、情報提供12件、再指導18件、高点数185件としている。技官が常時4人体制になったことで、昨年以上に個別指導の実施件数が増える可能性がある。しかし、実際に高点数を理由にした個別指導185件に着手するかどうかは微妙だ。今年3月9日に開催された第1回近畿厚生局選定委員会大阪部会の会議録によると、「高点数の保険医療機関は」選定対象として

は挙げるが、新規個別指導や情報提供による個別指導を優先的に実施した結果、実際は実施されないこともあるのか」との質問に、当局は「そのとおり」と回答している。従来の新規個別指導や患者・保険者通報などの情報提供による個別指導を優先し、その後、高点数医療機関の指導に着手していく傾向。

協会は強化された個別指導に備えるため、7月9日(土)に個別指導対策講習会を開催する(5面行事案内参照)。

大阪における歯科指導件数の推移

大阪府(歯科)	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度予定
情報提供							12件
再指導	7件	7件	7件	5件	7件	47件	18件
高点数							185件
合計	20件	4件	11件	13件	7件	3件	?
共同指導	0件	0件	4件	0件	0件	0件	0件
集団的個別指導	213件	199件	210件	433件	417件	427件	429件
新規個別指導	370件	140件	119件	203件	147件	134件	160件
監査	2件	3件	0件	1件	2件	0件	?

PR増刷号

今号は大阪府下の全歯科開業医の先生方にお送りしています。この機会にぜひ協会にご入会下さい。ご入会、協会の概要については、組織部までお気軽にお問い合わせ下さい。

未入会員の先生に、この新聞をお送りするに際し、近畿厚生局・各種名簿などで情報を取得しました。「郵送を断る」などご希望がありましたら協会事務局(TEL 06-6568-7731)まで。

各種相談室

専門家がごお答えします

法律相談

【日時】7月4日(月)午後2時～4時
【相談者】河村武信 弁護士

税務相談

【日時】7月20日(水)午後2時～5時
【相談者】黒岩哲夫 税理士

雇用相談

【日時】7月21日(木)午後2時～4時
【相談者】桂好志郎 社労士

相談料は無料、会場は保険医会館1Fです。

歯界

阪神淡路大震災は人口密集地帯で起こり火災が損害を大きくした。その後の新潟の地震では過疎地が多く孤立地域の救援へのアクセス困難という別の課題が現れた。今回は広域なと大津波と原発が加わった。人間は経験したことしか学習せず、多様な自然が起こす新しい問題は想定外で対応できない。歯科医院も多く被災した。ユニットを床に固定してあったら床ごと全滅したり近々取り替えの予定で床から外しておいた重いユニットが移動だけていた事例もあった。次の災害への課題を想定する間もなく復旧が急がれているが、政府や経済界は漁業などを資本の集約で大型組織に変革しようとして画策している。リスクヘッジと言うが、都会の大型店舗と同様で大多数の漁業関係者が非正規社員となるだろう。自立心が強く誇り高い漁業関係者の個人事業者たちは、壊滅的被害に見舞われながらも大型化に異を唱え、自らの力で再建に立ち上がるつもりだ。

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)